桜美林学園 同窓・校友 会報誌

復活の丘

第〇〇一号
二〇二五年・春

Contents

02 特集 ホームカミングデー2024
05 from ALUMNI
08 Oberliner Activities
10 広げようオベリンナーの輪
14 Information
16 清水安三先生論説

創刊
『復活の丘』
卒業生組織の広報誌が
組織再編にともない
新しくなりました

J. F. Oberlin University and Affiliated Schools Alumni Association

特集　ホームカミングデー2024

Home Coming Day 2024

詳細は
こちらから

2024年10月26日(土)、町田キャンパスの桜李祭と同日にホームカミングデーを開催しました。
桜カフェにて卒業生によるブース出店をはじめケータリングの提供や物品の販売、大抽選会などを行い、
1,000人以上のオベリンナーや近隣にお住まいの方々が来場し、賑やかなイベントとなりました。
校友会は今後も卒業生と母校をつなぐ懸け橋となるよう、引き続き活動してまいります。

卒業生こだわりの逸品をブース販売！

shop ｜ 漆とロック　漆器販売

原料の保護（漆の育成）から現代になじむ器づくりまで一貫してプロデュース。在学中のフィールドワークやバンド活動が協力して一つのものをつくることの原体験に。

貝沼 航さん
2002年度卒

Interview

手塚太一さん 1992年度卒

shop ｜ 手塚商店　冷凍漬け魚販売

人生の大切な時間を過ごした桜美林。大学時代はビデオアート愛好会で自主制作に熱中した日々を思い出します。卒業後は、地元山形で水産物販売の家業を継ぎましたが、初めは知識が全くない状態。そこから勉強し、今では「庄内浜文化伝道師マイスター」として活動しています。脂ののった銀だらの醤油漬けは絶品ですよ！　ぜひ一度ご賞味ください。2023年には同窓会山形支部を立ち上げました。さらなるつながりが楽しみです。

shop ｜ 雅稲恵舎（がねえしゃ）　ドレッシング販売

「おいしいはもちろん、簡単便利に安心も」をモットーに化学調味料・保存料・砂糖不使用の万能調味料を販売。在学中は崇貞寮で暮らし、聖歌隊活動に打ち込みました。

苅草恵子さん
1982年度卒

shop ｜ place 花やしき　ハーブソルト販売

広島産を中心としたハーブとミネラル豊富な天然塩が、食材のおいしさを引き立てます。学生時代は寮で暮らし、学食で友人と語らったことが忘れられない思い出です。

木島多枝子さん
1973年度卒

shop ｜ GREEN BASE　観葉植物販売

社会人になって初めて赴任した愛媛県松山の温かさに惚れ込み、植物インテリア店を開業。観葉植物やフレグランス等の雑貨を販売。在学中は野球部で内野手を担当！

奥田泰生さん
2018年度卒

募金のご協力ありがとうございました！

オリジナルグッズや豪華商品が当たる大抽選会！

Interview

若野一郎さん 1986年度卒

shop ｜ 横濱手縫工房　革製品販売

英文科時代にヨーロッパへ留学した経験から、卒業後の営業マン時代には、ヨーロッパの良質な革靴を輸入販売しようと奔走。しかし、時代は「安かろう悪かろう」。それでもやはり長く使える良いものをつくりたいと、ヌメ革を使った手縫いでの製作を始めました。販売している製品は、70%の完成度。お客さんが使い込んで100%になります。修理も対応しているので、ぜひ長く使い続けていただきたいです。

shop ｜ なっとう娘　納豆販売

在学中の留学やボランティア経験から、「くさいものに蓋をしない社会」を目指し、納豆をきっかけに環境問題にも取り組んでいます。当日はご当地納豆を厳選販売！

鈴木真由子さん
2018年度卒

shop ｜ Laughing Jam　バルーン販売

ギフトや空間演出など、バルーンを通してHappyで心踊るようなお手伝いを自分自身も楽しみながら手掛けています。学生時代は、チアリーディング部で青春を謳歌。

三浦綾子さん
2004年度卒

shop ｜ 小玉屋　山のあわび販売

新潟県南魚沼にあるレストランで、地域の食材の魅力を発信。肉厚で稀少な椎茸「天恵茹」はまさに山のあわび！学生時代のチェコでの留学生活は一生の思い出です。

小島藍子さん
2006年度卒

バルーンでつくられたフォトブースも！

ホムカミ限定のケータリングや サービス・展示も大好評でした!

food | PEDALADA町田

地域No.1カジュアルパーティーのお店を目指し、ディナー・土日祝は貸切パーティーに対応。ランチはサラダビュッフェとハンバーグ、カットステーキが大人気！

三井康弘さん
2000年度卒

drink | ケルンコーヒー

南アルプスの麓、清流の里・白州の地で営む自家焙煎珈琲店。シアトル系コーヒーの焙煎機として名高いディードリッヒコーヒーロースター社製焙煎機を日本で初導入。

白砂行教さん
1975年度卒

drink/food | モクシャチャイ

インド本場のチャイの味を日本に広めるべく、2019年、東京・中目黒にチャイ専門店をオープン。現地農園で厳選した高品質のインド紅茶のほか、焼き菓子なども販売。

大久保玲夫奈さん
2005年度卒

workshop | SNS・キャリアワークショップ

今井みさきさん
2013年度卒

「もっと、大人が心が動くことを日常に。」をモットーに、企業のSNSをプロデュース。自分らしいキャリアを築き、理想を叶えるために、SNSは大きな武器になります。

photo | 湘南カメラマン　写真撮影

大城エミリさん
2017年度卒

ウエディングフォトなどを中心に、自然光×自然体で撮影しています。被写体の笑顔を引き出すために、私も笑顔を心掛けています。在学中はバレーボール一筋でした。

art | 水彩画作品展示

清水広大さん
2022年度卒

在学中にクラウドファンディングで初個展を開催。制作テーマは「愛と自由」。作品に興味を持ってくださる一人ひとりの方に直接感謝を伝えることを大切にしています。

2025年のホームカミングデーは、10月25日（土）町田キャンパス大学祭と同時開催予定です。
皆さまのご来校をお待ちしています！ ※詳細未定。変更の可能性あり。

from ALUMNI

大学校友会の活動をお知らせします

●大学校友会

新体制での活動がスタートしました

桜美林学園の卒業生組織の体制変更により、大学校友会は新たに発足した「中学・高校同窓校友会」とともに活動を始めています。その共同事業の一つとして、本誌『復活の丘』を皆さまへお届けすることになりました。『復活の丘』という名称は、創立者清水安三先生がかつて創刊された学園誌のタイトルです。オールオベリンへの情報発信の場として、原点回帰といってもよいでしょう。親しんでいただけるよう発行してまいります。また、皆さまには大学校友会の活動にご協力いただきありがとうございます。大学の卒業生数は2024年3月の時点で89,000人を超えました。今年度もホームカミングデーや支部会、地域交流会、ビジネス交流会等、多種多様なイベントを開催する予定ですので、ぜひお気軽にご参加ください。大学校友会は皆さまのご活躍を応援しています。

大学校友会長　小礒　明／03大院卒

●理事会

会　長	小礒　明	／03年大院卒
副会長	醍醐　正武	／70年大英卒
	目黒　泉	／76年大経卒
	杉本　誠司	／88年大経卒
理　事	小池　一夫	／71年大英卒
	畑山　浩昭	／84年大英卒
	山本　美浩	／86年大中卒

●運営協議会

理事会と各委員会の委員長で開催

祝賀金の贈呈式

●委員会　事業内容に応じて組織化

総務委員会

大学校友会の内規の制定、規約作成等を行っています。

学生支援委員会

「Unique＆Sharp学生支援制度」をはじめ、卒業生との交流イベントの実施や夢の実現のために頑張る学生の活動支援を実施しています。

組織支援委員会

卒業生同士の交流や各種組織活動等の支援を実施しています。

広報委員会

InstagramやXにて、大学校友会の最新情報や卒業生および学園の情報を配信。会報誌『復活の丘』の発行協力も担っています。

イベント委員会

イベント協賛や学園への寄付を通じて、大学発展の支援を行っています。

予算委員会

大学校友会の年間予算に関する計画の作成、および各委員会の予算執行状況の管理等を行っています。

●その他の事業

中学・高校同窓校友会との共同事業

「賀寿礼拝」「ホームカミングデー」「リ・ユニオン」の共同開催、地域支部会支援、会報誌『復活の丘』の年2回発行を行っています。

ホームカミングデーにおいて

from ALUMNI

中学・高校同窓校友会の活動をお知らせします

● 中学・高校同窓校友会

2024 11.9 SAT

総会＆発足懇親会を開催しました

桜美林学園卒業生の新組織として「中学・高校同窓校友会」が2024年6月15日（土）に発足し、そのお披露目を兼ねて「総会＆発足懇親会」を11月9日（土）に桜カフェで開催しました。
当日は懐かしい恩師を含め13名の先生方と、65名の中学・高校卒業生にご参加いただきました。第1部の総会では、会則改正・規程の説明と承認、そして幹事紹介を行い、第2部の懇親会では恩師の先生方による懐かしいお話、卒業生からは各クラブOB・OG会の活動報告等で大いに盛り上がりました。また小椋先生から「中学・高校に限定した集まりということで、今まで学園全体の同窓会に参加していなかった卒業生の顔を見ることができた」という感想をいただきました。これぞまさに新組織設立目的の一つでもあります。
今回の発足懇親会は、多くの中学・高校卒業生の皆さまに新しい組織を認知してもらい、現役・退任された先生方にも会員として新規加入いただくこと、恩師、中学・高校時代を共有してきた卒業生の皆さまに交流の場を提供すること、また、今後の活動をより有意義なものにするためのご意見を伺うことを目的として開催いたしました。昨年は新たなイベントとして「50歳の集い」を開催しましたが、今後はさらに多くの卒業生、先生方にお集まりいただけるよう中学・高校に特化したイベントを企画、開催してまいります。また、親睦だけにとどまらず、大学校友会とも協同でオールオベリンとしての全体イベントや学園卒業生同士のビジネス交流等も行ってまいりますので、中学・高校卒業生の皆さまには引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

中学・高校同窓校友会長　山本美浩
／79中学・82高校・86大中卒

● 幹事一覧

顧　問	片桐	幸宏／76年高校卒
会　長	山本	美浩／82年高校卒
副会長	谷津	町子／73年高校卒
	井原	剛　／81年高校卒
幹　事	大沢	則夫／65年高校卒
	小椋	行夫／66年高校卒
	池田	洋子／69年高校卒
	霧生	保　／71年高校卒
	青木	望　／76年高校卒
	岩瀬	和子／80年高校卒
	加賀谷	真／81年高校卒
	小金	政代／81年高校卒
	庄司	利之／81年高校卒
	安藤	真美／82年高校卒
	楢葉	主敏／83年高校卒
	工藤	真彦／89年高校卒
	若林	章喜／92年高校卒
	木村	智次／96年高校卒

● 事業内容

中学・高校支援

桜空祭の協賛、学園への寄付等、中学・高校発展の支援を実施しています。

2024年桜空祭にて

生徒支援

優秀な成果をあげた生徒や団体を表彰し、賞状ならびに報奨金を授与します。また、卒業記念品として卒業証書を入れる筒の贈呈を行っています。

卒業生支援

「50歳の集い」や「二十歳を祝う会 茶話会」の開催、学年・クラス・部活動の同窓会等の開催支援を実施しています。お問い合わせは事務局までご連絡ください。

大学校友会との共同事業

「賀寿礼拝」「ホームカミングデー」「リ・ユニオン」の共同開催、地域支部会支援、会報誌『復活の丘』の年2回発行を行っています。

● 中学・高校同窓校友会

2024
11.2
SAT

中学・高校同窓校友会設立記念
50歳の集い

新宿京王プラザホテルにて、1989年度中学卒および1992年度高校卒の同窓会を行いました。先生方４人を含む66人の方々にお集まりいただき、また、今回は桜美林学園中学・高校同窓校友会設立を記念して盛大に催していただき、50歳の節目をこのように迎えられたことに感謝申し上げます。
学年全体として行う同窓会は3回目ですが、コロナ禍を経て、世の中の価値観が変わる中、同窓会に参加者が集まるかと少し不安もありました。しかし、そんな心配は必要なかったと思えるほど楽しい時間を過ごすことができました。
私たちは最後の学ラン・ブレザー組、ましてや青バッジ学年です。在学中多大なご迷惑?!　をお掛けしていたことは先生のお話からも思い出されました。しかし、それだけ印象深い学年であることは私たちにとっても同じで、濃い時間を過ごしたことを改めて感じさせていただきました。
お忙しい中、片桐先生、藤岡先生、首藤先生、藤崎先生にご出席いただき本当にありがとうございました。先生方の生徒でいられて幸せだったな〜と感じた3時間でした。また、最後は前回同様、みんなで手をつないで校歌を合唱し、若林君にエールを切ってもらいました。話は尽きず、いくら時間があっても足りないくらいでした。ご参加いただいた皆さま、送り出していただいたご家族の方に感謝いたします。今回参加できなかった方も含め、次回は還暦に学園のチャペルに集合しましょう。

堀口（渡邉）優子／
92高校・94短生卒

● 中学・高校同窓校友会

2025
1.13
MON

高校 第74期生
二十歳を祝う会

桜美林高等学校 第74期生「二十歳を祝う会」を荊冠堂チャペルにて行いました。およそ130名の卒業生と50名を超える保護者の方々、そして担任の先生をはじめ、多くのお世話になった先生方にご出席いただきました。
この会を迎えるにあたって実行委員11名でさまざまなアイディアを出し合い、1年前から準備をしてきました。参加者を募りつつ準備進捗状況がわかるように公式SNSを立ち上げ、お世話になった先生方のメッセージ動画を配信し、学年で人気のあった生徒に会いに行き近況報告動画を配信するなど、当日までワクワクするような仕掛けをしてきました。動画の再生数も上がり、会を迎える前から、「懐かしい〜！」「楽しみ〜！」など多くのコメントをいただき、実行委員の運営の大きな活力となりました。
当日、礼拝では校長・堂本陽子チャプレンより激励の言葉をいただき、元校長の大越 孝先生、学年主任の高地國盛先生からもお言葉をいただきました。チャペルに響く懐かしい先生の声、

パイプオルガンの音色に何年経っても戻って来られる場所が自分にはあるのだと、胸が熱くなりました。
この74期生は高校3年間が感染症対策のため、中学卒業式をはじめ、多くのイベントが中止となり、マスクありきの学校生活を送っていました。しかし、今回は素顔全開の満面の笑みが溢れ、何気ない日常の大切さをあらためて知る機会となり、今まで支え導いてくださった多くの方々に感謝の気持ちと二十歳としての決意を刻む日になりました。
桜美林中学校・高等学校が、これからも一層発展することを第74期生一同願っています。

実行委員長　舘　賢司／22高校卒

Oberliner #001

射撃選手 パリパラリンピック銅メダリスト
水田 光夏さん
2019年度 リベラルアーツ学群卒業

パリパラリンピックで3位入賞
射撃で日本人選手初メダリストに！

在学中に射撃を始め、“パラ射撃界期待の新星”として2021年東京大会でパラリンピックに初出場。32位という悔しい結果をバネに挑んだ2024年パリパラリンピック大会にて、射撃混合10mエアライフル伏射（運動機能障害SH2）3位入賞という快挙を成し遂げました。日本射撃界初のメダル獲得であり、オベリンナーとしても初のメダリスト誕生となりました。
この功績により2024年11月に町田市から市民栄誉賞が贈呈され、水田さんは式典で「これからもパラ射撃の魅力を広める活動を続けていきたい」と語りました。

Oberliner Activities 01
2024年は卒業生アスリートの活躍が光る1年でした！

©YDB

Oberliner #002

横浜DeNAベイスターズ 投手
佐々木 千隼さん
2016年度 健康福祉学群 健康科学専修卒業

プロ野球・日本シリーズで横浜DeNAの一員として日本一に輝きました！

2023年に千葉ロッテマリーンズから横浜DeNAベイスターズへ移籍。2024年SMBC日本シリーズ（対福岡ソフトバンクホークス）第1戦の7回に日本シリーズ初登板を果たし、チームの日本一に貢献しました。
佐々木さんは「桜美林で学び培った日々は、プロ野球生活でも生きていると実感しています。そして、大学時代にできた仲間は、活躍の場は違えど今でもお互いを高め合える同志です。卒業生としてこれからもさらなる活躍をお届けできるよう、2025年も尽力します。引き続き応援いただけますと幸いです」と語りました。

Oberliner Activities 02

2024年度の現役オベリンナーの活躍にもご注目ください

大学 University 特別強化クラブ実績

弓道部
- 男子：東京都学生弓道連盟リーグ戦 1部
  2勝2敗　4位
- 女子：東京都学生弓道連盟リーグ戦 1部
  3勝1敗　3位

駅伝部
- 第101回 東京箱根間往復大学駅伝競走 予選会
  総合　28位（合計タイム：11時間22分04秒）
  個人　12位 ネルソン マンデラ ンビディ（GC3年）
  121位 志村紘佑（健福3年）

野球部
- 首都大学野球連盟 1部リーグ
  秋季リーグ戦　6位（入替戦の結果2部降格）

アメリカンフットボール部
- 関東学生アメリカンフットボール連盟
  1部 TOP8　1勝6敗（入替戦の結果TOP8残留）

バレーボール部
女子
- 第71回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール
  大学女子選手権大会（インカレ）　ベスト16

男子
- 秋季関東学生バレーボールリーグ戦
  3部　2位（入替戦の結果3部残留）

チアリーディング部
- 第36回全日本学生チアリーディング選手権大会
  ディビジョン1　11位

ソングリーディング部
- ICU世界チアリーディング選手権大会　3位

サッカー部
- 東京都大学サッカー連盟
  関東大学サッカーリーグ
  東京・神奈川　2部　2位（1部へ昇格）

女子ラクロス部
- 第36回関東学生ラクロスリーグ戦
  3部 Cブロック　5位（入替戦の結果3部残留）

高等学校 Senior High School 部活動実績

軽音楽部
- 全国高等学校 軽音フェスティバル in 大阪城2024
  最優秀賞（高3）
- 第17回 東京都高等学校軽音楽コンテスト
  グランプリ（高3）（3年連続グランプリ大会史上初）
- 第11回 全国高等学校軽音楽コンテスト
  グランプリ（高3）（2年連続グランプリ大会史上初）
  文部科学大臣賞受賞（高3）
- Tokyo Music Rise 2024 Summer FINAL STAGE
  準グランプリ（高2）
- 第16回 東京都高等学校文化祭 軽音楽部門 中央大会
  奨励賞（高2）
  高等学校文化連盟会長賞受賞（高2）

野球部
- 第106回 全国高等学校野球選手権大会
  西東京大会　ベスト8

中学校 Junior High School 部活動実績

バレーボール部
- バレーボール女子U16日本代表候補選手　選出
  久野愛梨さん（中2）

2024年11月に韓国の選手と合同で行われた「バレーボールU16日本代表候補強化合宿」のメンバーに、桜美林中学2年の久野愛梨さんが選出されました。中学からバレーボールを始め、ポジションはミドルブロッカー。まさに青天の霹靂の選出となりましたが、合宿では良い刺激を受け、代表監督からも「向上心は一番」とのお言葉をいただきました。引き続きの活躍を祈っております。

広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、地域交流会、同窓会、
クラブ活動OB会などの活動をお知らせします

●兵庫支部

2024 7.20 SAT

第6回 兵庫リ・ユニオンに参加しました

高校卒業後、留学した私はリ・ユニオンに出席したことがありません。もしかしたら当時寮の食堂でご一緒した方々にお会いできるのではと、今回思い切って出席しました。出席者15人中、私が最高齢であることに気付き、少しがっかりしましたが、自己紹介を伺いながら、安三先生、郁子先生との思い出が走馬灯の様に思い出され、懐かしさで心がいっぱいになりました。時代は違っても共に桜美林で学んだ友を前にして、出席してよかったと感謝しました。学びはしっかりと根付き、花を咲かせていました。校歌が聞こえてくるような、喜びでした。

近藤紘子／62高校卒

●横浜支部

2024 9.7 SAT

第15回 横浜リ・ユニオン 開催報告

「2024年 横浜リ・ユニオン」を神奈川県民ホール6階「英一番館」にて、田中ひろ子支部長を中心に大学校友会・中学高校同窓校友会協賛のもと開催いたしました。

横浜港の夜景を一望できるスカイレストランで大槻達也理事長をはじめとする錚々たるメンバーが集結し、年度を超えた卒業生から色々とお話をいただきました。

清水安三先生の想いを連携し、誇りを持って意思疎通ができるよう、横浜支部はオベリンナーを応援します！

横浜支部幹事　安藤真美／82高校卒

●北海道支部

2024 9.21 SAT

初企画！ オールフリーパーティー開催

2024年度の北海道リ・ユニオンは、同窓会組織再編と会員誘致の課題を抱え、会員ファーストを軸にオンライン会議を重ね、参加費無料、入退場自由、ドレスコードフリー、友人・小児の同伴可というチャレンジ企画を打ち出し開催しました。

当日は、役員自ら会場をレイアウトし、イタリアンや札幌の老舗中華、秋の新作スイーツをいただきながら、景品付きゲームや会員へのプレゼント等全て手作りで完成させました。

終了後「次回も参加します」のお声を多数いただき、新たな同窓の輪が広がるステップとなりました。

北海道副支部長　小助川よしえ／82短英卒

●大阪支部

2024 10.12 SAT

第12回 大阪リ・ユニオン 開催報告

大阪支部の発足当初からご尽力いただいている佐藤紀子さん（62短大・家政卒）を囲み、桜美林との出会いからモンゴル国文化大使としてご活躍されている現在に至るまでの歩みを、映像とともにお聞きしました。現在は既に取り壊されてしまっている校舎の写真等を懐かしむ同窓生もいらっしゃいました。モンゴルのお話では、佐藤さんが長年にわたり大切にしてこられた友好関係の根底には安三先生の教え、桜美林スピリッツがあると感じました。これからも私たちオベリンナー一人ひとりが桜美林愛をつないでいけたらと願っています。

大阪支部長　髙野美幸／94大国卒

支部会の詳細は
こちらから

●広島支部

2024 10.13 SUN

第5回 広島リ・ユニオン 開催報告

昨年に続き今年も広島市内にて開催しました。これまでご参加いただいた方に加え、今回初めてご参加いただいた方も4名おり、新しい風を持ち込んでくださったことで支部員間のつながりが広がりました。OBIRINクイズタイムもあり、和気あいあいとした雰囲気であっという間の2時間でした。
2次会は15人の参加で、お酒も手伝いさらに交流を楽しんでいただけました。広島リ・ユニオンは県外からのご参加も歓迎いたします。盛り上げて楽しい会にしてまいりますので、ぜひ皆さまのお力を貸してください。

広島支部長　今川敦子／74短家卒

●宮城支部

2024 10.19 SAT

第6回 宮城リ・ユニオンに参加しました

宮城支部では恒例となっている芋煮会に、今年は総勢30名の方が参加されました。去年の私のように初めて参加された方もいらっしゃいましたが、卒業年度や学部を超えて共通の話題や思い出があり、盛り上がりました。初めて会う方でも母校が同じというだけで親近感が沸くので不思議です。宮城以外の方にも遠方からご参加いただきました。仕事や子育てで出会う方とは全く違う方々との交流。世代を問わず、こんなつながりがあってもよいのではないでしょうか。2時間という限られた時間でしたが、天候にも恵まれ大盛況のうちに幕を閉じました。

森川美琴／00大英卒

●沖縄支部

2024 11.16 SAT

第19回 沖縄リ・ユニオン 開催報告

19回目となる沖縄リ・ユニオンを那覇市内の「おもろまち一鮮満」にて開催しました。当日は大学校友会、中学・高校同窓校友会からもお越しいただき、総勢14名での会となりました。
開会のあいさつ、乾杯のあと、学校の近況報告や参加者各人の近況などで懇談し、今回初めての参加の方もいて大いに盛り上がりました。来年の沖縄リ・ユニオンは20回目の記念開催になるため、例年以上の盛り上がりを図るという意識を全員で確認し閉会しました。

沖縄支部長　新城昭二／80大経卒

●山形支部

2024 11.30 SAT

第2回 山形リ・ユニオンに参加しました

2024年11月30日（土）に開催された「第2回 山形リ・ユニオン」に初めて参加させていただきました。古くからの友人と連絡が遠のいていたこともあり、山形支部が発足したのを機に参加を決意いたしました。緊張しながら受付を済ませると、気さくに話しかけてくださる先輩方のおかげで笑顔になれた自分がいました。当時の思い出話などたくさんお話ししてくださり、桜美林の歴史にも触れられて大変有意義な時間を過ごせました。また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

井上恵理子／11大LA卒

支部会の詳細は
こちらから

●町田・相模原・八王子支部

2025 1.25 SAT

合同リ・ユニオン 開催報告

学園近在の3支部合同のリ・ユニオンを開催しました。小礒大学校友会長のごあいさつに続いて八木下八王子支部長の乾杯のご発声をいただき祝宴となり、70余名の同窓生が9つの円卓を囲み、話に花を咲かせました。第2部はアカペラ部の熱演の後、井原中高同窓校友会副会長ほかご来賓の方々からごあいさつをいただきました。そして、3支部および学園校友課からの豪華景品の抽選会で宴は最高潮に。学園歌合唱で円陣を組み、記念写真撮影と終始和気あいあいの雰囲気でした。

町田支部長　大沢則夫／
65高校・92大中・96大院卒

●千葉県支部

2025 2.1 SAT

第21回 千葉県リ・ユニオンに参加して

2025年2月1日（土）に「第21回千葉県リ・ユニオン」がグリーンタワー幕張で開催されました。感染症等によりキャンセルの方もいる中、42名の参加となりました。毎年、世代を超えた同窓生と学園生活の思い出など楽しく語り合えるひとときとなり、アッという間に時間が過ぎてしまいます。今後も、理事長をはじめ、校友会の皆さま方に支えていただきながら、千葉県支部の活動を盛んにできればと思います。また、次回も多くの皆さまにお会いできることを楽しみにしております。　上原絵理／88高校・92大商卒

●埼玉地域

2024 9.28 SAT

第2回 埼玉地域交流会に参加しました

2024年9月28日（土）「パレスホテル大宮」にて埼玉地域交流会が開催されました。参加者の自己紹介があり、ご活躍状況や在学中の思い出などをお聞きし、和やかな雰囲気の中で世代を超えて交流しました。私は一昨年の第1回から参加しています。大先輩にお会いしたり、つい半年前まで学園で過ごしていた新社会人の後輩に会ったりと毎回意外な交流を楽しんでおります。多様でありつつ、皆が学園という一つの輪の中にいることを心地よく感じる時間でした。次回もぜひ参加したいと思います。　関口治美／91大英卒

●静岡地域

2024 12.7 SAT

第2回 静岡地域交流会に参加しました

2024年12月7日（土）「ホテルグランドヒルズ静岡」にて静岡地域交流会が開催され、総勢30名のオベリンナーが参加しました。同じ場所を思い出として共有できる先輩方とのお話は、自分たちの時代だけではなく、別の時代の桜美林の風景にも出会えたような何とも懐かしく楽しい気持ちにさせてくれました。昔の縁がつながり、新しい縁がつながり、今まだ再会できていない桜美林時代の友人たちともいつか……という期待を胸に、次回開催を心待ちにしております。

八木（浜崎）由香／87短英卒

地域交流会の詳細は
こちらから

●四国地域

2024
12.14
SAT

第1回 四国地域交流会に参加しました

2024年12月14日（土）「JRホテルクレメント高松」にて、四国地域交流会が開催されました。香川県内外から総勢19名のオベリンナーが集い、学園での思い出や卒業後の道のりなどを語り合い、たいへん楽しいひとときを過ごしました。
都道府県の中で面積がいちばん小さい香川県から桜美林大学への進学者は少ないと思いますが、縁あってお住まいの方もいらっしゃいます。今後、新たな交流を深め、支部として学園を応援できるようになればと思います。

筒井彰子／84大中卒

●茨城地域

2025
2.8
SAT

第1回 茨城地域交流会に参加しました

2025年2月8日は、初めて茨城県で地域交流会が開催された記念すべき日となりました。「ホテル テラス ザ ガーデン水戸」にて、大槻理事長をはじめ醍醐校友副会長にもご出席いただき大盛況に。私ごとではありますが、かつて茨城県支部を立ち上げようと試みたのですが、力不足で叶いませんでした。ですから、今回の茨城県での交流会開催が心から嬉しいのです。出席された皆さんから次回開催のご要望もあり、2025年度もたくさんの方にお会いできるのを、今から楽しみにしております。

岡田ゆみ／83短家卒

●同窓会

2024
8.3
SAT

2011年度 中学校卒業生 同窓会

2024年8月3日（土）に、桜美林中学校66期同窓会が開催されました。高校卒業10周年ということで、先生を含め70名ほどの参加者が集まり、5次会まで開催されるなど大盛況でした。半年ほど前から企画準備を開始し、幹事は隔週でオンライン会議を重ねコンテンツを準備しました。20代で集まれたこともあり、さまざまなライフステージの変化もありました。特に同級生同士の結婚報告では、当時の担任の先生も驚きの表情でした！　ご参加いただいた先生、参加者、並びに運営に感謝申し上げます！

池田　颯／11中学・14高校卒

●同窓会

2024
9.7
SAT

2024年 石狩会総会 開催報告

北は岩手、南は宮崎より、石井 敏先生はじめ総勢55名にて5年ぶりとなる石狩会総会を開催いたしました。当日は天気に恵まれ、催し物は80歳・傘寿を迎えた先生の「ちゃんちゃんこ」の着替えと「元気で百歳まで生きる」スピーチ、会員の近況報告、桜美林グッズを景品にしたビンゴ大会と3時間があっという間に過ぎました。今回は先生の意向の半立食形式で行ったことで、参加者と先生との会話が弾んだのではないかと思います。次回開催・再会を約束して終了。2次会は21名参加し、予定を延長しても別れを惜しむ会となりました。

浦山宏二／86大経卒

同窓会・OB会の
詳細はこちらから

Information

●同窓会

2024
10.19
SAT

1973年度 高校G・H組 合同クラス会

昨年はコロナ禍後初開催、今年は卒業後50年という節目の年で30名が集いました。昨年に続いての参加者も多かったためか、同じ教室で時を過ごしたのがついこの間のように感じられ、楽しい語らいの中で忘れていたエピソードや行事での出来事などたくさん思い出すことができました。また、お孫さんの話や不健康自慢など年齢相応の話題でも盛り上がり、楽しいひとときでした。来年は古希を迎えるので、常連はもちろん、今まで参加できなかった人にもなるべく参加してもらえるよう皆で声掛けし、盛大な祝会にしようと話し合い散会しました。

千田正博／73高校卒

●OB会

2024
11.30
SAT

桜美林高校ESS・OB会 開催報告

顧問の藤野先生、武内和美先生をはじめ、1974〜1992年卒まで18代にわたる先輩・後輩の総勢47名が集合。近況報告・思い出話に花を咲かせ、現役時代から変わらない縁や絆を深く感じる一日となりました。2024年天に召されたOBの奥様をご招待し、卒業後もお世話になっている群馬県片品村の宿「かしや」の元女将・入澤眞理呼さんにはリモート参加いただき、幾度となく感極まる場面も。藤野先生の一貫して私たちに伝えている言葉、「ばかになれよ」を久々に直接聞くこともできました。最後は校歌を合唱し、藤野先生から大きなエールをいただき名残惜しくも閉会となりました。

ESS・OB会幹事　織野雅彦／78高校卒

個人情報の取り扱いについて

同窓・校友課では個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしております。過去に発行された名簿の保管には十分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えください。またDMや電話からその企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点はお問い合わせください。

個人情報の変更手続きについて

住所や連絡先、勤務先などの変更がありましたら、同窓会ウェブサイトの会員情報変更フォームをご活用ください。下の二次元コードからもアクセスできます。ウェブサイトをご覧になれない方は、事務局までお電話かメールでお問い合わせください。

お問い合わせ先

- **電　話：**☎042-797-1632
  （平日9:00〜16:00）
- **メール：**alumni@obirin.ac.jp

会員情報変更フォーム

- **同窓会ウェブサイト：**
  https://qr.paps.jp/lt2jw

ご逝去された方々

卒業生は敬称略

謹んでご冥福をお祈りいたします

（　）内は旧姓　〔　〕内は逝去年月

奥脇弘久 …… 52短英卒〔24.07〕
羽柴慎一 …… 81大経卒〔24.05〕
根岸亮子（井上）…… 56高校卒〔24.09〕
菊池太陽※ …… 80大商卒〔24.09〕
渡辺克彦 …… 59短英卒〔24.05〕
小林岳幸 …… 93大商卒〔23.10〕
千賀恵美子 …… 77短家卒〔24.10〕

※夏の甲子園優勝時のメンバー、野球部OB会会長

バックナンバーは
こちらから

Schedule

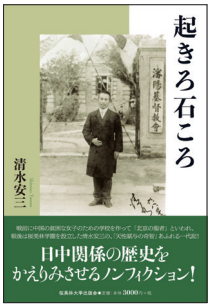
2025	❇印は各設置校主催
TAMA祭(多摩キャンパス) ❇	5月 24日(土)・25日(日)
横浜リ・ユニオン	9月　6日(土)
リ・ユニオン	9月 20日(土)
桜空祭(中学・高等学校文化祭) ❇	9月 20日(土)・21日(日) 予定
桜日向祭(東京ひなたやまキャンパス) ❇	10月　4日(土)・　5日(日)
ホームカミングデー	10月 25日(土)
賀寿礼拝	10月 25日(土)
桜李祭(町田キャンパス) ❇	10月 25日(土)・26日(日)
PFC祭(プラネット淵野辺キャンパス) ❇	10月 25日(土)・26日(日)
沖縄リ・ユニオン	11月 15日(土)
百桜祭(新宿キャンパス) ❇	12月　6日(土)・　7日(日)

※❇印の行事予定の詳細は各設置校のウェブサイトをご確認ください。
※「リ・ユニオン」の詳細は決定次第同窓会ウェブサイトでご案内します。

Books

起きろ石ころ

著者／清水安三

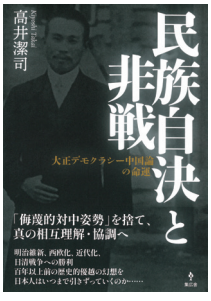


「北京の聖者」とも言われた桜美林学園創立者・清水安三先生による、1965年当時の新聞連載手記の初めての書籍化。戦時下での制約から解放された先生による貴重な教育史であり、日中関係の歴史を顧みさせるノンフィクションでもあります。　論創社／価格3,300円（税込）

民族自決と非戦

大正デモクラシー中国論の命運

著者／高井潔司先生(元LA学群教授)



桜美林学園創立者・清水安三先生を中心とした戦前の中国論者たちの主張を「大正デモクラシー中国論」と名付け、その潮流を原文にさかのぼって検証。現在、および今後の中国論・日中関係にとっての教訓やヒントが得られます。

集広舎／価格4,840円（税込）

同窓会などの開催案内について

同窓会ウェブサイトにて、支部会や同窓会などの開催案内がご覧いただけます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

- 大学女子寮〈太平荘〉在籍者同窓会
  （※1970～1972（昭和45～47）年頃の太平荘に在籍された方々の情報を事務局までお寄せください）
- 1983年度高校卒業生同窓会　ほか

編集後記

桜美林学園の卒業生組織が新たな一歩を踏み出します。これまでの『同窓会だより』は、オベリンナーの礎である『復活の丘』という名称で再スタート。広報委員長として、学園の現在の様子や卒業生の活躍など、有益な情報を皆さまにお届けし、校友同士の絆を深め、ネットワークの拡大に貢献してまいります。

広報委員長　山﨑誠太／01大英卒

『同窓会だより』210号でお知らせした通り、卒業生組織の再編があり、すでに中学・高校同窓校友会が活動を開始し、大学卒業生組織も数年後の正式な改編を目指しています。『復活の丘』は、その昔清水安三先生がお元気な頃お一人で発信し続けた学園広報誌名です。安三先生から引き継いだ同窓会が長らく『同窓会だより』として発行してまいりましたが、ここに再び『復活の丘』改名をお伝えできて嬉しく思います。今後は新たな情報発信方法も検討し、引き続き皆さまに学園情報をお届けいたします。

広報副委員長　田邊佳織／77大英卒

桜美林学園 同窓・校友 会報誌
復活の丘　No.001　Spring 2025

発行日：2025年3月25日
発　行：桜美林学園 事業開発部 同窓・校友課
〒194-0294　東京都町田市常盤町3758
☎042-797-1632
※掲載されている卒業年は年度表記としております。

清水安三先生論説
基督教世界

昭和二年（一九二七年）七月一四日

編集・小林　茂

この論説は、創立者清水安三先生がかつての学園広報誌『復活の丘』に執筆・掲載したものを、桜美林中学校・高等学校の元チャプレン小林 茂先生（51高校卒）がそのスピリットを伝えるべく読みやすく編集しています。

原文の本漢字は略漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに、志那は中国に、在支は在中に改め、聞き慣れない言葉や人名には説明語を（　）で付記しました。難読漢字には読み仮名を振り、随時句読点を補いました。

中国革命と宣教師問題

「家を造りかけて中途で止める事は物笑いである。又、手を鍬にかけて後を顧る者は呪われるべし（ルカによる福音書9章62節）である。」にも拘らず、宣教師達は中国から、どしどし引揚げて行ったのである。七千五百名の新教（プロテスタント）伝道者の裡、居残れる者は、僅かに四百有餘である。時を得るも時を得ざるも伝道すべきであるのに、彼等は如何なる理由、口実があって、斯くは中国を離れ行ける。

思い出ずるに団匪の乱（一九〇〇年、中国の清朝末期に起こった外国人、キリスト教徒排斥事件、義和団の乱）の折には、何れの教派たるを問わず宣教師達は皆んな踏止って殉教を決心し、またその素志（平素の志、かねての願い）を遂げて或は弄殺（もて遊び殺す）或は虐殺されたのである。北京より遠からざる保定府にて惨殺されたるペトキン君の如きは、米公使館から立退きを慫慂（すすめる）されたるにも拘らず「羊群を野に置いて又何処にか行かんや」と稱し、勇んで持ち場に籠城したものである。彼が惨たる（いたましい）屍の傍に在りし古新聞のブランクス（余白）には「エールよ、エール、エールはどうかホレースを二十五才まで育てて呉れ、彼が二十五才になればどうか、再び中国に遣わして彼をして、父が位置を取らしめよ」と書いてあった。エールと言えるは彼が母校エール大学のことで、ホレースとは彼が一子、当時二才の赤ん坊であった。この遺言が遂にチャイナ、エール、ミッションとなり、長沙大学基礎となったのである。げに（まことに）殉教者の精神は教会の種である。斯くの如き殉教のスピリットが即ち在中宣教師の伝統的精神となって居るのである。

私達はこれ丈けの言葉を前提となして而も猶、今度に限って何故にかくも宣教師が帰国せるかを考察せむと欲する。「在中日本邦人商売人すらも、頑張って動かぬではないか。日本の政府はこの日僑（中国に仮住居している日本人）の頑張りに援助を与えて出兵までもして居るではないか。然るに宣教師ともいうものが、何故に帰国して行くのであるか。意氣地の無いにも程がある。北中（国）到る処に聳ゆる血痕（血のついた跡）生々しい、殉教碑は悉く、君達の前輩（先輩）が身を以て示す指南車（古代の方向を指し示す車）ではないか。噫今時の宣教師にはもう殉教の志気（物事をなそうとする意氣、意気ごみ）が失せた！」と一概に（一様に）けなしつけるものは未だ中国事情に通じざる。またこの国を熱愛せざるものの言であると確信する。

オハイオ州はオベリンのキャンパス（校庭）に大理石もて造られしメモリアル・アーチ（記念の門）がある。これはアメリカン・ボード（オベリン大学が所属したキリスト教の団体名、同志社大学清水安三先生も同じ宣教師団体）宣教師か。団匪の変（団匪の乱、前出）に際して出したる犠牲者を記念せるものである。このアーチに「殉教者の血潮は教会の種である」と深く刻んである。オベリン大学のラヂカル（急進的）の学者ケンバ・フラートンは、常に言って居る。「彼等はイエスの爲めの犠牲ではない。然し乍ら帝国主義の犠牲であった」と。死せるものは悉く主が後を追わむとて殺されたのであるが、その結果は米国の出兵となり、北清事変（義和団事件の日本における呼び名）となり、あわれ中国は幾十億の賠償を払うこととなり、実に中国は今日の如くに貧しくなったのである。ペトキン君の死すらも、殉教せし如くにして、結果は帝国主義の言い懸りとなった。今日中国々民が反基督運動を起す理由の一つは此処に存する。されば殉教者の死は教会の種とならずして、反基督運動の種となった。見よ、長沙（中国湖南省の省都）のチャイナ・エールは真先に接収されたではないか。山東（中国の地名　山東半島）で殺された二名のドイツ宣教師は何も、帝国主義の先鞭（さきがけ）として死んだのではなかった。けれどもその結果は如何。中国は山東を奪われることになり、（第一次山東出兵）後には日独戦争まで起ってるではないか。好機あらば主の爲めに死んでみたいのはペトキン君ばかりではないのである。

（次号に続く）

アメリカ・オハイオ州のオベリン大学にあるメモリアル・アーチ。義和団の乱の犠牲者18名の名前が刻まれた青銅の銘板が2枚設置されている。